

大門坂

9月臨時号 月田小学校だより

平成29年9月15日(金) 校長 小林幸雄

人の道における根本

先日、嬉しいニュースが届きました。

本校の職員が、「ほっとつきだ」を尋ねた時のことです。その施設を利用されている一人のおばあちゃんから伺った話です。

「ある日、洗濯物を取り入れようとした時のこと、洗濯物が風に吹かれ飛んでいってしまったそうです。困ったと思ったその矢先、洗濯物をさっと小走りに取って持ってきてくれた男の子がいたというのです。このことを思い出すと、今でも涙が出るほどに嬉しいと言われました。」

とってもいい話です。名前を聞くと、卒業した大輝くんでした。足が早く気の優しい大ちゃんです。素早く取ってきたあの大ちゃんの様子が目に浮かぶようです。

嬉しくて、9月最初の児童朝礼で紹介しました。一人の先輩の美しい行動に、皆で拍手を送りました。

嬉しいことのついでに、いくつか話しました。

その一つは、朝、校長先生が学校にやってくる時のことです。毎朝、異年齢の集団でサッカーに興じる姿を目の当たりにします。

私の車が運動場に近づき、スピードを落としながら体育館に近づくころ、決まってケンショウくんの「おはようございます」という声が響きます。それに和したように、ユウヤくんの声も聞こえます。その直後、小さな学年も負けじと「おはようございます」と連呼するのです。

このような美しい光景が、私は好きです。

無論、帰る時も、「さようなら」という声が運動場の端っこから聞こえてくるのです。

もう一つ嬉しいことを紹介しました。

それは、給食時間、廊下一面に異常に発生した小さな黒い羽虫を取り除こうと、モップをかけようとした時のことです。

2年生の教室を通り過ぎ、3年生の教室前でユーターンしようとした途端、何と3年生の教室から「ありがとうございます」という声が次々と上がるのです。恐縮しながら右手を挙げて応えると、2年生の教室からも、「ありがとうございます」という一人の男の子の声があがったのです。このような光景は、今に始まったことではありません。草刈り作業をしていたり落ち葉掃きをしたりしても、異口同音に「ありがとうございます」という声が上がります。

このような経験は、私だけではありません。他の職員も同様に認めるところです。



5年生 稲刈りの体験

私はこれまでたくさんの学校に勤めてきましたが、このような子どもたちに出会ったのは初めてです。どんなに汗を流しながら作業をしても、その脇を黙って通り過ぎるのがごく当たり前のことだったからです。

さて、このような良いことを伝えた後、子どもたちに次のように聞いてみました。

このようなことは、人として特別なことなのでしょうか。

多くの子が、特別のことではなく当たり前のことだと手を挙げました。その通りです。人として当たり前のことばかりです。でも、このような当たり前のことが出来ることが、極めて重

要なことなのです。人として当たり前ことは、人の道における根本です。

論語に、次の一節があります。

君子は本を務む。本立ちて道生ず。

本とは、人の道における根本、つまり人として当たり前のことを指します。

人として当たり前ことを徹底すれば、自ずと、進むべき道が開けるものだという意味です。

ところで、月田っ子宣言にも人として当たり前前かが記されています。

- 一、人をいたわります。
- 一、丁寧さを身につけます。
- 一、卑怯な振る舞いはしません。
- 一、ふるさとを愛し、年上の人を敬います。
- 一、夢に向かって努力し、少々のことではへこたれません。

例えば、年上の人を敬います。このことも人として当たり前のことです。

月田奨学会プール開放無事終了

酷暑の夏、恒例の月田奨学会主催のプール開放が、本年も無事終了しました。利用した児童の延べ人数は、昨年よりも多く570名でした。一日平均38名の利用です。全校60名ですから、いかに利用率が高かったか分かります。

昨年よりプールの管理を名和富徳さんをお願いしております。まさに熱中症との闘いという過酷な環境でのお仕事です。名和さん、本当にありがとうございました。

全国学力テストの結果

先般、新聞紙上で、平成29年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

本校の6年生の結果は、以下の通りでした。

- ・国語A 本校の平均75.4 > 全国平均74.8
- ・国語B 本校の平均57.3 < 全国平均57.5
- ・算数A 本校の平均83.1 > 全国平均78.6
- ・算数B 本校の平均43.4 < 全国平均45.9

算数Aは、全国平均よりかなり高く秋田県に次ぐレベルです。国語Aと国語Bは、全国平均なみと言えます。課題は、算数Bです。全国平均より数ポイント下がっています。

岡山県学力テストの結果

今年から小学3年～5年、中学1年・2年を対象に、岡山県学力学習状況調査が実施されることになりました。経年変化を検証し、継続的かつきめ細かな検証や改善を図ることが主たるねらいであります。

3年生と4年生には、このような学力テストは初めてのことで。

言うなれば、昨年までの取り組みの一端が評価されるものです。

さて、本校の結果は、以下の通りでした。

3年国語	本校の平均78.3 > 県平均77.1
3年算数	本校の平均77.4 > 県平均73.3
4年国語	本校の平均80.0 > 県平均69.8
4年算数	本校の平均76.0 > 県平均75.1
5年国語	本校の平均78.6 > 県平均74.4
5年算数	本校の平均76.1 > 県平均69.8

学年によって、得意、不得手の教科の違いはありますが、全般的に国語・算数ともに何とか県平均を上回る結果でした。

以上のような結果を踏まえ、学力向上担当の松浦先生、研究主任の岩佐先生を中心に、職員で今後の方向性と課題を検討したところです。

以下、今後の主な対応を示します。

- ① 教科書の良さを活かす授業を引き続き行う。
- ② 教科書の進度を少しでも早めに終える。
- ③ ②の結果、少しでも余裕時間を生み、学期末には、総復習の週間を設ける。
- ④ 過去問等にも単元末や学期末に取り組む。
- ⑤ 45分の授業内に習熟できる時間を確保する。
- ⑥ 学習規律の徹底（ノート・腰骨・学習準備）
- ⑦ 家庭学習強化週間の取り組みを引き続き行う。
- ⑧ 苦手な分野・領域の要因を細かく分析し、日常の授業に活かす。

⑧の項は、今年度新たに組み入れたものです。

平たく言えば、全単元ごとの市販テストの結果を皆で共有し、どこで子どもたちが躓いているのか検証を加えながら取り組むものです。

少しでも子どもたちの可能性を押し広げる取り組みを、今後行って行きたいと思っております。